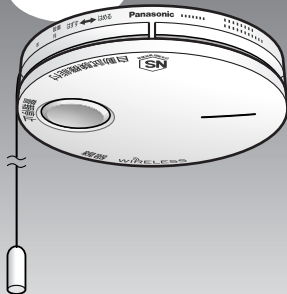
Panasonic®

ワイヤレス連動型
住宅用火災警報器

取扱説明書

品番 SH32717 けむり当番 親器
品番 SH32427 けむり当番 子器
品番 SH32427Y けむり当番 子器(和室色)
品番 SH32127 ねつ当番 子器

一般家庭用 屋内専用
保管用 保証書付き
取付説明付き

けむり当番　ねつ当番

壁取付OK　取り付けるのに資格不要

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(☞4ページ)を必ずお読みください。

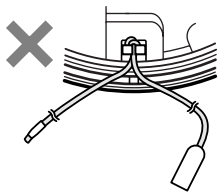
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

8A3 A04 00008 M0310-70812A

もくじ

〈よくあるご質問〉

右のような方法では、結び目がすき間に入り警報停止ボタンが押されたままの状態になります。警報停止ボタンが押された状態だと、電流が流れて電池寿命が短くなります。

引きひもの長さを調整した後は、警報停止ボタンが押せることを確認してください。

ワイヤレス連動型住宅用火災警報器についてのさまざまな情報が当社のホームページでも確認できます。

サポートページ（本URLは2012年1月現在のものです）

http://www2.panasonic.biz/es/densetsu/ha/jukeiki/

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。
守らないと、転倒·落下してケガをするおそれがあります。

電池の挿入や交換、および取付用木ネジの取り扱いは、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
守らないと、誤飲やケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

警報部に耳を近づけて警報音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。

その他の安全上のご注意についても、本書内の各所に記載してありますので、必ずお読みください。

ワイヤレス連動型住宅用火災警報器の特徴

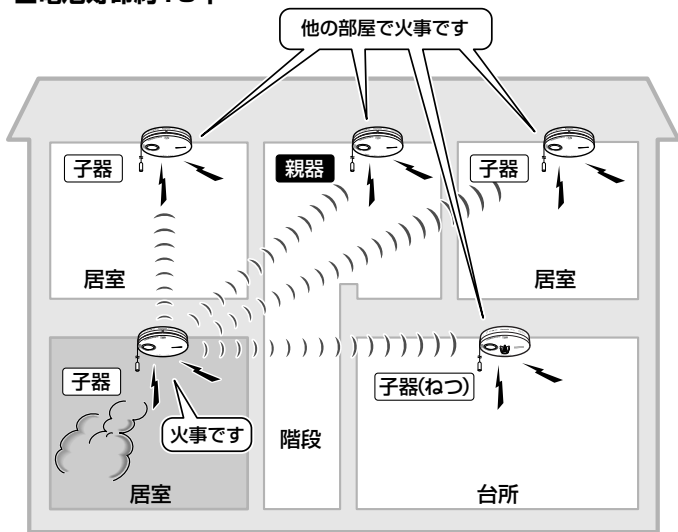
■[親器] [子器]のどれか1つが火災(煙または熱)を検知すると、家の中すべての警報器から音声でお知らせ！

■ワイヤレスなので、配線工事不要

■親器1台に子器14台まで登録可能

- ●ご使用前に子器を親器に登録する操作が必要です。
  ☞17ページ
- ●1住戸に1システムでご使用ください。

■電池寿命約10年

他の部屋で火事です
子器
親器
子器
居室
居室
子器
子器(ねつ)
火事です
階段
居室
台所

使用上のご注意

- この商品は煙または熱を検知して警報する機能をもっていますが、火災の防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この商品は、法律(消防法9条2)で住宅への設置および維持について義務付けられています。
  維持管理のために、6カ月ごとに1回以上定期点検を行ってください。
  ☞33ページ
- 隣家に設置されていても混信することはありません。
- 1週間以上留守にされた場合は、留守中に電池切れとなっている可能性があるため、帰宅後に動作確認を行ってください。
  ☞25ページ
- **けむり当番の場合、殺虫剤(くん煙殺虫剤・加熱蒸散殺虫剤を含む)を使用する場合は、火災警報動作をするおそれがありますので本体をはずして(☞34ページ)殺虫剤がかからない所に置いてください。**
  使用後は換気をして、本体を取り付けてください。
- **ねつ当番の場合、ライターなどの直火で熱検知部を温めないでください。**
- 親器あるいは子器だけで使用することはできません。
  親器と子器は組み合わせてご使用ください。
  (親器は1台必要です。2台以上は使用できません。)
- 一般型の住宅用火災警報器とも連動できます。(一般型および薄型の住宅用火災警報器の対象品番 ☞44ページ)
  登録方法については、付属の「薄型と一般型のワイヤレス連動型住宅用火災警報器を混在して使用される方へ」をご確認ください。
- 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。
- この商品は電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。

火災ではないのに火災警報音が鳴るときの対処方法

ホコリや虫(クモなど)が入った場合に火災警報することがあります。
掃除機で吸い取ると、警報動作は止まります。

1 引きひもを引く。(火災警報音を止める。)

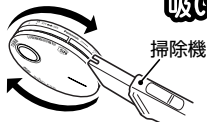
●警報停止ボタンを押しても止まります。

普段から、引きひもは伸ばしてお使いください。

2 本体を取りはずす。

⚠警告

取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。
守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。

3 5分以内に掃除機で吸い取る。

●「けむり当番」の場合、煙検知部を掃除機で**2周以上**吸い取ると効果的です。

●掃除機で吸い取りを行った後は、必ず正常に動作することを確認してください。☞25ページ

●吸い取った後も警報音が鳴る場合は、販売店や修理ご相談窓口へご連絡ください。

●「警報部」には掃除機は使用しないでください。

ホコリや虫以外でも下記のような場合に火災警報することがあります。
警報を止めるには、十分に換気を行ってください。

<けむり当番>
- くん煙式·加熱蒸散式の殺虫剤を使用した
- 殺虫剤や化粧品などのスプレーが直接かかった
- タバコや線香などの煙がかかった（1、2本や吹きかけた程度では警報しません）
- 調理の煙や炊飯器、加湿器などの蒸気などがかかった
- 結露した

<ねつ当番>
- レンジ·エアコン·ストーブなどの熱を検知した

各部のなまえとはたらき

警報停止ボタン／ランプ(赤)(通常時:消灯)

●警報音を停止させたり、動作確認に使用します。
●警報時、動作確認時に点滅します。

取付ベース

煙検知部(側面凹部全周)

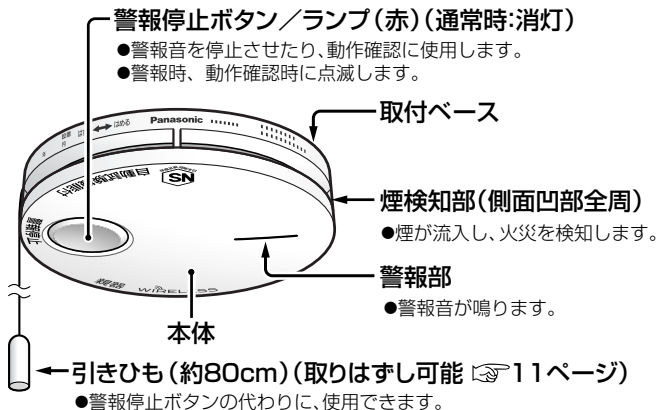
●煙が流入し、火災を検知します。

警報部

●警報音が鳴ります。

本体

引きひも(約80cm)(取りはずし可能 ☞11ページ)

●警報停止ボタンの代わりに、使用できます。

⚠注意

禁止

警報部に耳を近づけて警報音を聞かない。

聴力障害などの原因となるおそれがあります。

〒マークについて

●けむり当番・ねつ当番は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示(〒マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。

ねつ当番　子器(SH32127)

警報停止ボタン／ランプ（赤）（通常時:消灯）

- ●警報音を停止させたり、動作確認に使用します。
- ●警報時、動作確認時に点滅します。

取付ベース

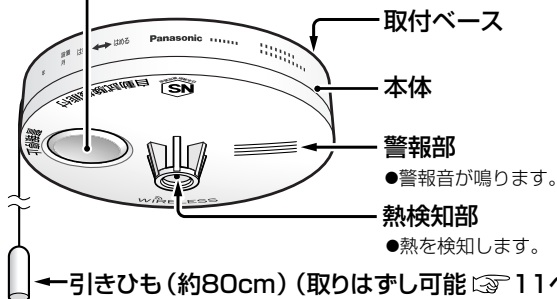
本体

警報部

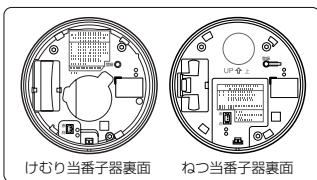
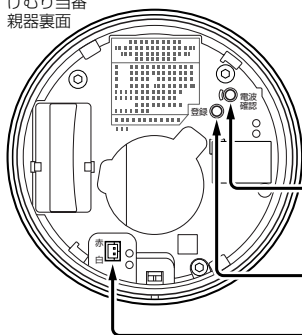
●警報音が鳴ります。

熱検知部

●熱を検知します。

引きひも（約80cm）（取りはずし可能 ☞11ページ）

●警報停止ボタンの代わりに、使用できます。

●取付ベースをはずした図(はずし方 ☞16ページ)

けむり当番子器裏面　ねつ当番子器裏面

電波確認ボタン（親器のみ）

●すべての子器に電波が届いているか確認するときに使用します。

登録ボタン

●登録時に使用します。

専用リチウム電池接続用コネクタ

各部のなまえとはたらき（つづき）

付属品

●取付用木ネジ
（3.5×25mm）……………2本

●取扱説明書（保証書付き）
（本書）………………………1冊
●かんたん準備ガイド………1枚

●専用リチウム電池…………1コ

透明フィルム
をはがさない。

電池について

専用リチウム電池品番：SH384552520

⚠警告

必ず守る

電池の挿入や交換は、乳幼児の手の届かない場所で行う。 守らないと、誤飲のおそれがあります。

●透明フィルムは、専用リチウム電池を保護するものです。絶対にはがさないでください。
●電池寿命は約10年ですが、お客様のご使用環境により短くなる場合があります。なお、電池交換後も正常に動作することを確認したうえ、引き続きご使用ください。
☞25ページ
●電波ノイズが多い場所では、電池の消耗が早くなります。

●電池寿命が近づくと、電池切れ警報でお知らせします。
☞32ページ

引きひもについて

引きひもは、天井などの手が届かない位置に取り付けた場合、警報停止ボタンを押す代わりに使用するものです(取りはずしも可能)。

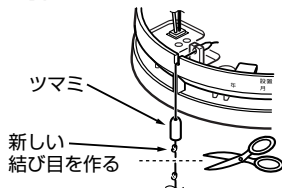
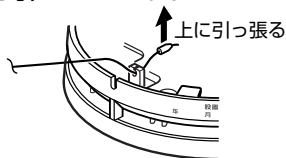
⚠注意

必ず守る

壁掛け取り付けする場合や、石こうボードの天井に取り付ける場合は、引きひもをはずして使用する。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損したり、ケガをするおそれがあります。

本体を取り付けるときは、引きひもがミゾに正しく収まっていることを確認してください。取り付け後、引きひもが正しく動作しなかったり、本体を取りはずすことができなくなります。

引きひもの取り付けや取りはずしは、本体を取付ベースから取りはずしてから(☞16ページ)、以下のように行ってください。

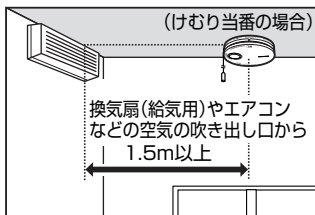
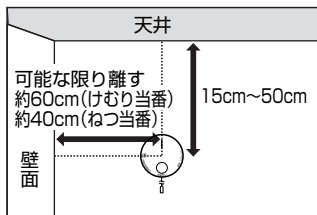
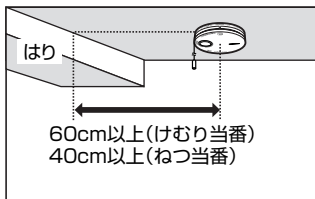
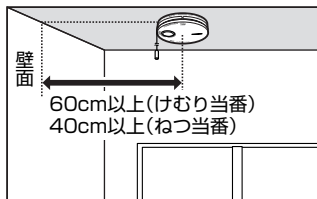
●引きひもを短くするには

●引きひもをはずすには

●引きひもを取り付けるには

取付場所について

	設置が必要な場所			火災警報器の種類
全地域で必ず取り付けが必要な場所	寝室	普段の就寝に使う部屋。子供部屋・高齢者の居室を含む。		けむり当番（煙式）
	階段	寝室がある階の階段最上部。		けむり当番（煙式）
市町村条例によっては取り付けが必要になる場所	居室	リビングなど寝室以外の部屋。		けむり当番（煙式）
	台所			けむり当番（煙式） または ねつ当番（熱式）
条件によっては必要になる場所	廊下	警報器を設置する必要がなかった階で、就寝に使用しない居室（床面積が7m²以上）が5以上ある階の廊下。		けむり当番（煙式）

設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。詳しい設置場所は、当社のホームページ上でも確認できます。（URL ☞ 2ページ）

取付位置

本体の中心から以下の距離を確保してください。
誤動作や故障、または検知が遅れる原因となります。

●階段や廊下などで上記の条件に則した設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。

次ページにつづく

取付場所について（つづき）

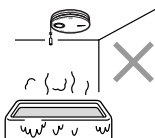
取り付けできない位置

〈けむり当番・ねつ当番共通〉

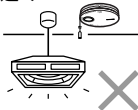
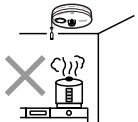
●取付位置の温度が0℃を下まわる、あるいは40℃を超える場所

電池電圧が低下して電池切れ警報動作をしたり、正常に動作しないおそれがあります。

0℃を下まわる　40℃を超える

●浴室内や水がかかる場所、水滴のつく場所

●屋外・屋側（軒先など）

●照明器具の真上や近く

煙や熱が照明器具に遮られるため、可能な限り（約50cm）離してください。

●食器洗い乾燥機や炊飯器などの蒸気のかかる場所

〈けむり当番の場合〉

●火災ではない煙のかかる場所

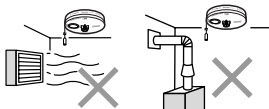
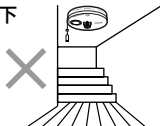
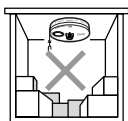
調理の煙や蒸気、排気ガスなどがかからない場所に取り付けてください。

●タンスなどの真上や近く

60cm以上離してください。

〈ねつ当番の場合〉

●暖房や煙突の近く

●レンジ、ストーブなどの真上や近く

●階段・廊下

●倉庫など直射日光により温度上昇のはげしい場所

設置上のご注意

■絶対に分解・改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

■キズをつけたり、ペンキなどで塗装しないでください。

■親器と子器との電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。

■下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがあります。

- ●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●機器間にある天井面・壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●機器の周辺が金属物で囲まれている(スチールキャビネットの間など)。
- ●金属物の天井面・壁面に機器を取り付けている。
- ●電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の1m以内にある。
- ●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- ●機器の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器などを使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

■到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますので注意してください。

■親器・子器はAC100V機器およびその電源線から20cm以上離して設置してください。近すぎると正常に動作しない場合があります。

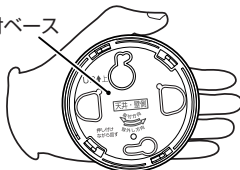
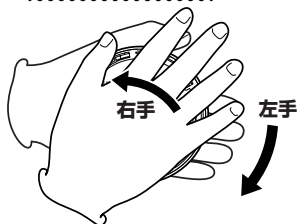
■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため親器と子器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

■13・14ページに従って正しい位置に取り付けてください。また、移動させた場合は必ず動作確認(☞25ページ)を行ってください。

正しく設置しないと、火災警報動作が遅れる原因となります。

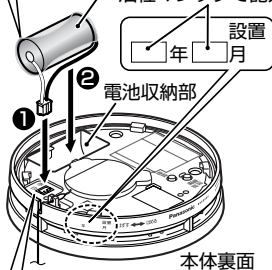
電池を入れる（親器とすべての子器）

1. 取付ベースをはずす。

手のひらにのせて

押し付けながらひねる

2. 設置年月を記入する。

3. 専用リチウム電池（付属）を入れる。

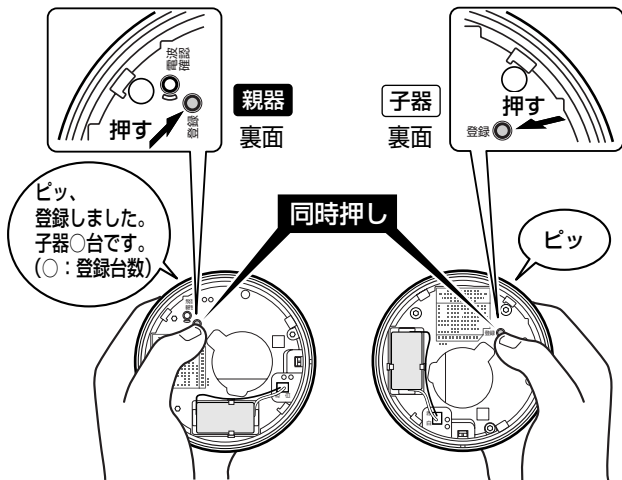
コネクタの接続に工具は使用しないでください。

●取付ベースをはずしたまま次の手順に進んでください。

親器に子器を登録する

必ず親器に子器を登録してください。

あとから子器を増設する場合、親器を取りはずして(☞34ページ)登録してください。すでに使用中の子器を再登録する必要はありません。

1. 親器と子器の登録ボタンを同時に押す。

- 「ピッ、登録しました。」が鳴ると、登録完了です。
- 親器から登録台数をメッセージでお知らせします。
- 登録できる子器の台数(14台)を超えて登録すると「ピッ、登録できません。」と鳴ります。

2. 2台以上の子器を登録する場合は、登録する子器ごとに手順1をくり返す。

電波確認をする

1. 親器と子器をそれぞれ設置する場所の真下(床)に置く。

2. 親器の電波確認ボタンを押す。

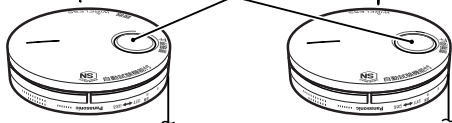
➡ 親器から「ピッ、テスト中です。」が数回鳴り、その後、各警報器から電波確認結果を約1分間お知らせします。

- 親器は最初に登録台数をメッセージでお知らせします。
- 電波確認中は各警報器のランプが点滅します。
- いずれかの警報器の警報停止ボタンを押すと、メッセージは止まります。

親器 裏面

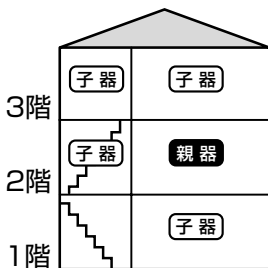
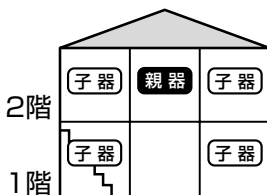
〈異常時〉
- ピッピッ、……
  電波が受信できません。
  (電波が弱い場合)

子器のみ
- 無音(電波がまったく届いていない場合)

〈正常時〉
ピッ、電波チェック正常です。

対処方法

1. 警報停止ボタンを押して、音を止めてください。
2. 約30秒後に再度、電波確認ボタンを押してください。
3. それでも届かない場合は、以下の項目をチェックしてください。
4. 対処した後、再度、電波確認ボタンを押してください。

親器の配置場所が適切ですか？

▶ **親器がすべての警報器の中央になるように配置を変更する**
親器は電波を中継する役割をもっているため、電波が届きやすくなります。

家庭用電気製品やOA機器（パソコンなど）の電波ノイズの影響を受けていませんか？

▶ **使用環境を確認して影響する機器を移動する**
電波ノイズを受けると電波が受信できません。

親器と子器が離れすぎていませんか？

▶ **親器と子器の設置場所を近づける**
電波到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。
（使用環境によっては距離が短くなる場合があります。）

取り付けに関する安全上のご注意

⚠警告

必ず守る

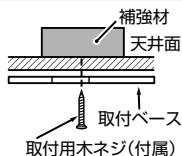
取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。
守らないと、転倒･落下してケガをするおそれがあります。

⚠注意

付属の取付用木ネジを使用して確実に取り付ける。
両面テープなどで取り付けると、商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。

必ず守る

天井面または壁面の野縁※など補強材のある位置に取り付ける。ベニヤ板などの薄い天井材や柔らかい天井材は、あらかじめ補強を行う。
商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。

※野縁：天井などを張るため下地の骨組みとなる細長い角材

壁掛け取り付けする場合や、石こうボードの天井に取り付ける場合は、引きひもをはずして使用する。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損したり、ケガをするおそれがあります。

禁止

天井面に取り付ける場合は、取付ベースの真下で取付作業をしない。
ネジの締め付け時に天井材のくずが目に入るおそれがあります。目に入った場合は、ただちに洗い流してください。

- 石こうボードに取り付ける場合は、石こうボードのくずが落下するため、床に敷物などを敷いて作業してください。
- 補強材のない石こうボードの天井や壁に取り付ける場合 ☞24ページ
- 取付場所がコンクリートの場合は、販売店や専門業者にご依頼ください。

取り付ける

⚠警告

必ず守る

取付用木ネジの取り扱いは乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。

守らないと、誤飲やケガをするおそれがあります。

●専用リチウム電池のリード線をはさみ込まないように注意してください。
●取り付け後、天井面や壁面に対して本体が傾いていないことを確認してください。傾いている場合は、本体の取付ベースへの取り付けをやり直してください。落下するおそれがあります。

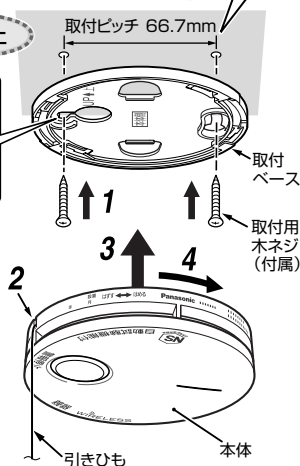
天井面に取り付ける場合

1. 取付ベースを取付用木ネジで取り付ける。

両面テープによる取付禁止

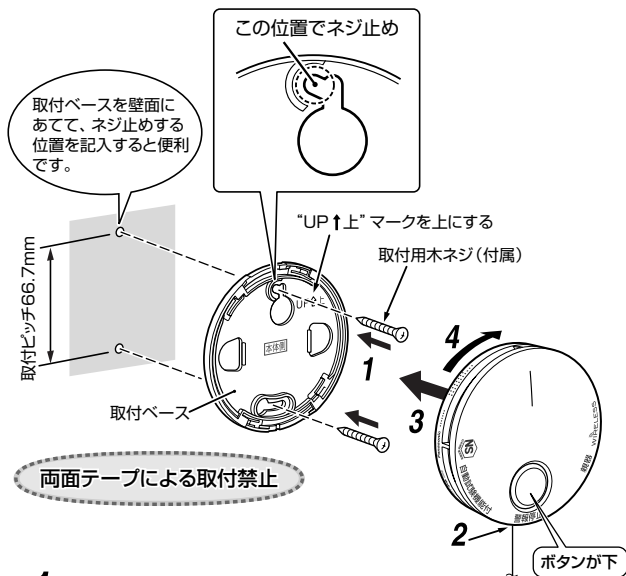
2. 引きひもがミゾに収まっていることを確認する。

引きひもについて ☞11ページ

3. 本体を取付ベースにはめる。

4. 「カチン」と音がする位置まで右に回す。

本体が取付ベースに固定されます。

取り付ける(つづき)

壁面に取り付ける場合

1. **取付ベースを取付用木ネジで取り付ける。**

2. **引きひもがミゾに収まっていることを確認する。**

引きひもについて ☞11ページ

3. **本体を取付ベースにはめる。**

4. **「カチン」と音がする位置まで右に回す。**

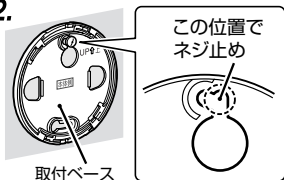
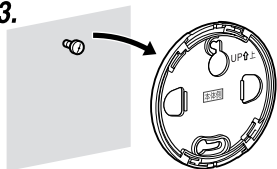
本体が取付ベースに固定されます。

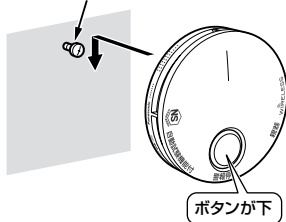
壁掛けの場合

（取付用木ネジ1本に引っ掛ける）

1. **引きひもをはずす。**
☞11ページ

2. **取付ベースを取付用木ネジで取り付ける。**

手順3で取付ベースを取りはずしますので、強く締め付ける必要はありません。
取付ベースと取付用木ネジのネジ頭部分のすき間がない程度に締め付けてください。

3. **取付ベースを取りはずす。**

4. **取付ベースを本体にはめ、「カチン」と音がする位置まで右に回す。**

5. **本体を取付用木ネジに引っ掛ける。**

6. **本体が確実に引っ掛かっていることを確認する。**

取り付ける（つづき）

石こうボードに取り付ける場合

市販の石こうボード用プラグ（ネジ径：3.5mm対応）をお使いください

⚠注意

必ず守る

石こうボードの天井に取り付ける場合は、引きひもをはずして使用する。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損したり、ケガをするおそれがあります。

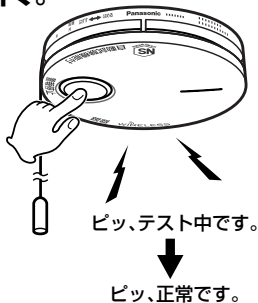
不明な点は販売店や専門業者、およびお客様ご相談窓口にご相談ください。

動作確認をする

取付後や電池交換後、お手入れ後、および定期点検の際は、必ず正常に動作することを確認してください。

1. 警報停止ボタンを約１秒間押す あるいは引きひもを約１秒間引く。

➡「ピッ、テスト中です。」が数回鳴り、その後、各警報器からテスト結果を約1分間お知らせします。
☞ テスト結果 26ページ

- ●親器は最初に登録台数をメッセージでお知らせします。
- ●動作確認中は各警報器のランプが点滅します。
- ●いずれかの警報器の警報停止ボタンを押すか引きひもをひくと、メッセージは止まります。

すべての警報器で「ピッ、正常です。」と鳴ることを確認してください。すべての警報器の確認が終わる前に鳴動停止した場合は、警報停止ボタンを約1秒間押すか、あるいは引きひもを約1秒間引いて動作確認を続けてください。

■火災警報音を鳴らすこともできます

❶警報停止ボタンを3秒以上押し続ける、あるいは引きひもを3秒以上引き続ける。
→その警報器から「ピッ、テスト中です。」が鳴った後、「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴り、他の警報器から「ピュー、ピュー、他の部屋で火事です。」が鳴れば、正常な動作です。

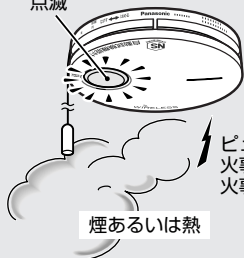
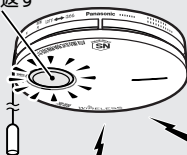
❷警報音を止めるときは、警報停止ボタンあるいは引きひもを離す。
→音が止まります。

動作確認をする（つづき）

テスト結果

メッセージ内容	処置方法
子器○台です。 ピッ、正常です。 （○：登録台数）（親器）	正常です。このままご使用になれます。
ピッ、正常です。（子器）	
ピッ、電池切れです。	電池切れが近くなっています。 該当する警報器の専用リチウム電池を交換してください。☞35ページ
ピッピッ、電波が受信できません。	家庭用電気製品やOA機器（パソコンなど）といった、電波ノイズの影響を与えている可能性のある機器を移動させてください。部屋のレイアウトを変えた場合などは設置環境を再度確認してください。☞28ページ
ピッピッピッ、故障です。	故障しています。販売店または修理ご相談窓口にご相談いただき、すみやかに交換してください。
何もメッセージが鳴らない。	専用リチウム電池がはずれている可能性があります。専用リチウム電池のコネクタを確認してください。差し込まれている場合は、完全に電池が切れているか、商品が故障している可能性があります。販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。

これで準備は終了です!

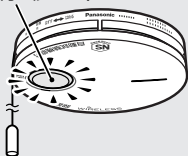
「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴ったとき

火元を確認し、避難してから119番に通報するなど適切な処置をする。

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す、または引きひもを引く。

→約5分間、警報音が一斉に停止し、ランプの点滅が消えます。

●火元以外の警報器で操作した場合、火元の警報器の警報は止まりません。
●約5分後にも煙あるいは熱を検知すると、再び警報動作が始まります。

●煙がなくなる、あるいは熱がなくなるまで警報動作をくり返します。
●火元では警報音停止中に火災が発生しても警報が鳴りません。ただし火元以外では、警報音停止中であっても火災が発生すると警報します。
●火災以外でも蒸気やホコリ、虫などで警報することがあります。換気や掃除機による吸い取りなどで原因を取り除くと、警報は止まります。☞7ページ

「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき

次ページにしたがって対処

■自動電波確認

警報器は、親器と子器間の電波が届くかどうかを確認するために約1日に1回、自動的に電波確認を行います。
異常があった警報器で上図のように警報します。親器に異常があった場合は、すべての警報器で警報します。

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す、または引きひもを引く。

→「ピッピッ、電波が受信できません。」が3回鳴り、メッセージが止まります。

- ランプは約8秒ごとに点滅を続けます。
- 電波異常のままの状態であった場合は、0（直後）～24時間以内に再び警報が鳴ります。

■対処方法

以前は使用していたが、現在、電池をはずして使っていない子器がありませんか？

使用していない子器の登録を個別消去してください。
☞ 40ページ
使用していない子器の登録は消去する必要があります。

故障などで子器を交換しましたか？

子器を交換した場合は、親器で登録を全消去した後(☞39ページ)、使用する子器のみ再登録してください。

親器を使用していますか？

親器は必ず使用してください。
親器を使用しているのにすべての子器から「ピッピッ、電波が受信できません。」と鳴る場合は、親器が故障の可能性があります。その場合はすみやかに親器を交換し、使用する子器を再登録してください。

家庭用電気製品やOA機器(パソコンなど)の電波ノイズの影響を受けていませんか？

使用環境を確認して、影響している機器を移動させてください。
電波ノイズを受けている場合は、電波が受信できません。部屋のレイアウトを変えた場合などは設置環境を確認してください。

次ページにつづく

「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき(つづき)

親器と子器が離れすぎていませんか?

親器と子器の設置場所を近づけてください。

電波到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。
(使用環境によっては距離が短くなる場合があります。)

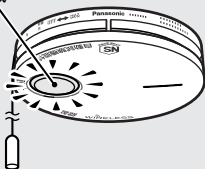
留守の間に電池切れが起こっていませんか?

動作確認(☞25ページ)を行い、メッセージが鳴らない警報器を特定してください。特定した警報器の専用リチウム電池を交換してください。
☞35ページ

すべてに当てはまらない場合は、親器で登録を全消去(☞39ページ)した後、使用する子器のみ再登録してください。

それでも解消されない場合

販売店や修理ご相談窓口へお問い合わせください。

「ピッピッピッ、故障です。」が鳴ったとき

販売店または
修理ご相談窓口に相談

■自動試験機能

けむり当番・ねつ当番は、約1時間ごとに検知部の自動故障診断を行い、故障が発生した警報器で上図のように警報します。

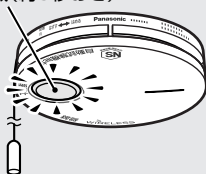
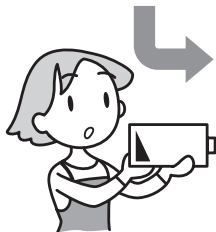
故障状態では煙や熱を検知できないため、火災警報動作をしません。ただし、他の部屋で火災を検知した場合は、故障警報した警報器でも火災警報動作(連動動作)をします。

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す、または引きひもを引く。

→「ピッピッピッ、故障です。」が3回鳴り、メッセージが止まります。

- ●ランプは点滅を続けます。
- ●故障のままの状態であった場合は、0(直後)～24時間以内に再び警報が鳴ります。

「ピッ、電池切れです。」が鳴ったとき

販売店に相談し、すみやかに新しい専用リチウム電池(SH384552520)と交換 ☞35ページ

- 電池切れ警報は約1週間継続します。
- 電池を抜いたままにしておくと電波異常メッセージが鳴りますので、すみやかに電池交換を行ってください。

警報音を止めるには

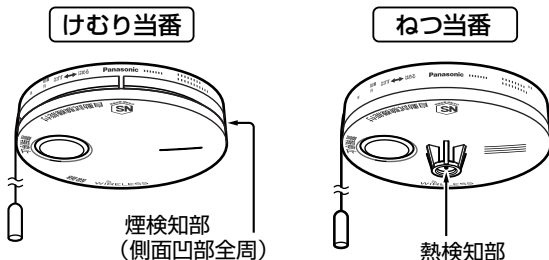
警報停止ボタンを押す、または引きひもを引く。

→「ピッ、電池切れです。」が3回鳴り、メッセージが止まります。

- ランプは約8秒ごとに点滅を続けます。
- 電池切れのままの状態であった場合は、0(直後)〜24時間以内に再び警報が鳴ります。

定期点検のしかた

6カ月ごとに1回以上定期点検を行ってください。

1. 検知部のホコリや汚れなどを確認する。

汚れやホコリ、クモの巣が検知部につくと煙や熱を検知しにくくなったり、誤動作の原因となります。
次ページ「お手入れのしかた」に従って取ってください。

2. 動作確認をする。☞25ページ

正常に動作しない場合は ☞36ページ

故障状態や電池切れ状態などでは煙や熱を検知できないため、火災警報動作をしません。

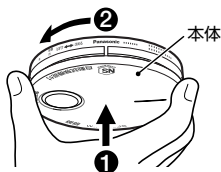
お手入れのしかた

本体を取りはずしてお手入れしてください。また、取付部付近の天井面・壁面を掃除するときも本体を取りはずしてください。

1. 本体を取りはずす。

上に押し付けながら左に回す

2. 汚れやホコリを取る。

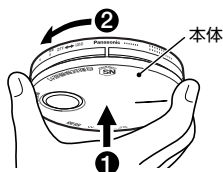
●水または石けん水に布を浸し、よく絞ってから汚れやホコリを取ってください。

●熱検知部（☞33ページ）を触ったり、濡らしたりしないでください。故障の原因となります。
●内部に水が浸入しないように注意してください。故障の原因となります。
●アルカリ性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。表面にキズや割れが発生する場合があります。

3. 本体を取付ベースに取り付ける。☞21ページ

●本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
●検知部に異物（糸くず、水など）が残っていないか確認してください。

4. 動作確認をする。☞25ページ

電池交換のしかた

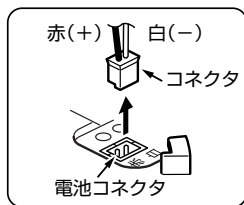
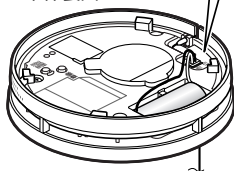
1. 本体を取りはずす。

上に押し付けながら左に回す

2. 電池コネクタから コネクタを引き抜く。

3. 新しい専用リチウム電池（SH384552520）を入れる。

☞16ページ

4. 動作確認をする。

☞25ページ

廃棄について

不要となった親器・子器や交換後の専用リチウム電池は、電池の透明フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻き、各市町村で定められた方法に従って廃棄してください。

故障かな？と思ったら

下記の点検・処置をしても異常がある場合は、販売店やお客様ご相談窓口にご相談ください。

状　態	点　検	処　置
火災ではないのに火災警報動作をする。 または 火災警報動作が止まらない。	殺虫剤やタバコの煙、調理の煙・蒸気などがけむり当番にかかっていませんか？	室内の換気をしてください。
	検知部や検知部内部にホコリや虫(あるいはクモの巣など)がついていませんか？	検知部のホコリなどを取り除いてください。 ☞7ページ
	近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか？	熱・蒸気などを取り除いてください。
	検知部に煙や熱などが残っていませんか？	検知部の煙や熱をうちわなどであおいで取り除いてください。
	警報停止ボタンが押されたままになっていませんか？ また引きひもがひっかかっていませんか？	警報停止ボタン、または引きひものひっかかりを直してください。
警報停止ボタンを押しても動作しない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていませんか？	コネクタを差し込んでください。
	専用リチウム電池が切れていませんか？ (電池切れ警報動作(☞32ページ)をしていた)	新しい専用リチウム電池に取り替えてください。 ☞35ページ
	――――	警報器が故障しています。 販売店や修理ご相談窓口にご相談ください。

状 態	点 検	処 置
「ピッ」音が鳴り、ランプ(赤)が点滅する。	警報停止ボタンを押して警報音(メッセージ)を確認してください。	警報の種類(電波異常警報／故障警報／電池切れ警報)によって、以下の項目を参照しください。 ➡**「ピッピッ、電波が受信できません。」が鳴ったとき ☞ 28ページ** ➡**「ピッピッピッ、故障です。」が鳴ったとき ☞ 31ページ** ➡**「ピッ、電池切れです。」が鳴ったとき ☞ 32ページ**
「ピッピッ」音が鳴り、ランプ(赤)が点滅する。		
「ピッピッピッ」音が鳴り、ランプ(赤)が点滅する。		
ランプ(赤)が約8秒おきに点滅を繰り返す。		
ランプ(赤)が連続点滅する。		
「ピッ、未登録です。」と鳴る。	――	親器に子器が登録されていません。 登録してください。 ☞17ページ
「ピッピッピッ、しばらくお待ちください。」と鳴る。	――	親器・子器が通信処理中です。しばらく待ってから操作してください。
電池挿入時、「ピー」音が4秒周期で鳴り、ランプ(赤)が点滅する。※	引きひもを結んでいませんか？ ☞ 2ページ	引きひもがひっかかり、警報停止ボタンが押されたままになっています。本体を取付ベースからはずして引きひもを確認してください。

※約8秒間経過すると、他の機器から火災警報音が鳴動します。
警報停止ボタンを押して、警報音を止めてください。

故障かな？と思ったら（つづき）

警報が同時に発生した場合の優先順位について

❶火災警報

❷故障警報

❸電池切れ警報

❹電波異常警報

警報時と警報音停止時の動作について

	火元のけむり当番・ねつ当番		連動先のけむり当番・ねつ当番	
	ランプ	警報音	ランプ	警報音
通　常　時	消灯	—	消灯	—
火災警報動作時	早い点滅	火災警報音	小刻みな点滅	火災警報音
火元で火災警報音を停止させた場合	消灯	—	消灯	—
連動先で火災警報音を停止させた場合	早い点滅	火災警報音	消灯	—
故障警報動作時	早い点滅	故障警報音	連動先は警報動作しません。	
故障警報音停止時	早い点滅	—		
電池切れ警報動作時	遅い点滅	電池切れ警報音		
電池切れ警報停止時	遅い点滅	—		
電波異常警報動作時	遅い点滅	電波異常警報音	遅い点滅	電波異常警報音
電波異常警報停止時	遅い点滅	—	遅い点滅	—

使用を中止・交換する場合(登録消去)

故障したり不要になった子器を使わない場合、その子器の登録は消去する必要があります。
消去には「全消去」と「個別消去」の2つの方法があります。

- 確実に登録消去を行うため、故障した際には「全消去」をおすすめします。
- 全く動作しない子器では「個別消去」できませんので、親器で「全消去」を行ってください。
- 親器を交換する場合は、新しい親器に子器を登録し直してください。(「全消去」は不要です。)

全消去

1. 使用していた親器を取りはずす。 **☞34ページ**

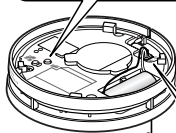
2. 電池コネクタからコネクタを抜く。

3. 登録ボタンを押しながら電池コネクタを差し込む。

「ピー、消去しました。未登録です。」が鳴るまで登録ボタンを押し続ける。

- すべての警報器の登録が消去されます。

4. 電池コネクタからコネクタを抜き、電池を抜く。

- 再び使用する場合は、親器に子器を登録(☞17ページ)してください。
- 再登録した場合は、必ず動作確認(☞25ページ)を行ってください。

全消去しても子器側の登録は消去されません。
使用しない子器の電池は抜いてください。

使用を中止・交換する場合(登録消去)(つづき)

個別消去(使わなくなった子器で操作)

1. **使わなくなった子器を取りはずす。**☞34ページ

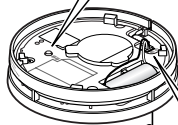
2. **電池コネクタからコネクタを抜く。**

3. **登録ボタンを押しながら電池コネクタを差し込む。**
(「ピッ」音が鳴るまで登録ボタンを押す。)

●親器と操作した子器から「ピー、消去しました。」と鳴り、その子器の登録が消去されます。

4. **電池コネクタからコネクタを抜き、電池を抜く。**

5. **使用する警報器の動作確認をする。**☞25ページ

●電波異常警報が鳴る場合は、個別消去が実行されていません。全消去(☞39ページ)を行ってください。

●個別消去を行う場合は、必ず親器の専用リチウム電池が差し込まれていることを確認してください。
●「ピー、消去しました。」と鳴るまでにしばらく(最大約25秒)時間がかかる場合があります。

ワイヤレス連動型住宅用火災警報器のQ&A

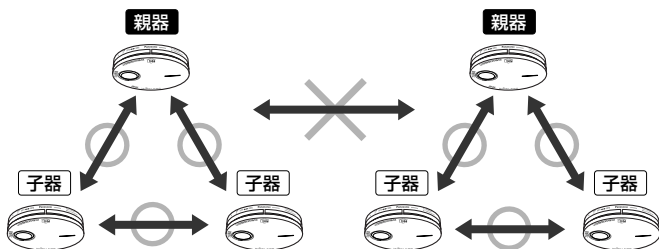
Q けむり当番、ねつ当番は混在させて使用できますか？

A できます。

Q 子器が火災を検知しても連動して警報しますか？

A 親器・子器にかかわらず、火災を検知するとすべての警報器が連動して警報します。

Q 親器を2台使用して連動させることはできますか？

A できません。1システムに親器1台、子器は14台までです。
親器を2台以上使用しても連動しません。

Q 設置した後に子器を追加(増設)できますか？

A できます。設置可能台数(子器は14台まで)の範囲内であれば追加可能です。ご使用前に追加する子器を親器に登録し(☞17ページ)、電波が届くことを確認(☞18ページ)してください。

Q ワイヤレス中継器は使用できますか？

A 使用できません。ワイヤレス連動型用の中継器はありませんので、電波が届きにくい場合、親器をすべての警報器の中央になるように配置してください。

Q 隣家にも設置してある場合、混信しませんか？

A 混信しません。使用前に親器・子器間で固有のID登録(連動の登録)を行いますので、隣家と混信することはありません。

Q 「母屋」と「離れ」や別棟の2世帯住宅で連動させたいのですが使用できますか？

A 使用できますが、以下の2点にご注意ください。

- 電波確認(☞18ページ)を実施し、母屋～離れで電波が届くことを確認してください。
- 警報停止は、必ず母屋と離れ双方の安全を確認してから行ってください。

Q アパートなどの共同住宅で、他住戸と連動させて使用できますか？

A 使用しないでください。理由は以下の通りです。

アパートなどの共同住宅の例

複数の住戸を1システムで連動させると、火災発生時、連動先の住戸で警報を止めたときに、連動先のすべての住戸の警報が止まってしまいます。
(個々の住戸内で連動するようにしてお使いいただく場合は問題ありません。)

仕 様

品　番	品　名
SH32717	けむり当番薄型2種(電池式·ワイヤレス連動親器) (警報音·音声警報機能付)
SH32427	けむり当番薄型2種(電池式·ワイヤレス連動子器) (警報音·音声警報機能付)
SH32427Y	けむり当番薄型2種(電池式·ワイヤレス連動子器) (警報音·音声警報機能付)(和室色)
SH32127	ねつ当番薄型定温式(電池式·ワイヤレス連動子器) (警報音·音声警報機能付)

項目		内容
種別		SH32717、SH32427、SH32427Y：光電式住宅用防災警報器 SH32127：定温式住宅用火災警報器
型式		SH32717、SH32427、SH32427Y：電池方式、2種(DC3V、300mA)、連動型、自動試験機能付、無線式(発信器・受信器) SH32127：電池方式(DC3V、300mA)、連動型、自動試験機能付、無線式(発信器・受信器)
型式番号		SH32717：鑑住第22～13号 SH32427、SH32427Y：鑑住第22～14号 SH32127：鑑住第22～15号
使用電池		専用リチウム電池　SH384552520(3V)
電池寿命		約10年(※1)
警報音・音声警報	火災警報時	火　元：ピュー、ピュー、火事です。火事です。 連動先：ピュー、ピュー、他の部屋で火事です。
	電池切れ警報時	「ピッ、電池切れです。」が3回鳴動し、その後約40秒おきに「ピッ」が鳴動
	故障警報時	「ピッピッピッ、故障です。」が3回鳴動し、その後約40秒おきに「ピッピッピッ」が鳴動
	電波異常警報時	「ピッピッ、電波が受信できません。」が3回鳴動し、その後約40秒おきに「ピッピッ」が鳴動

※1：お客様のご使用環境により短くなる場合があります。また、セキュリティ受信器(ECD1101· ECD5101)と組み合わせて使用した場合の電池寿命は、親器約8年、子器約10年となります。

仕 様(つづき)

火災警報音量	1mにて70dB以上(鑑定基準)
使用周波数	親器(SH32717) 「CH.1」固定(426.6625／426.7625MHzの2波) 子器(SH32427・SH32427Y・SH32127) 「CH.1」固定(426.6625MHzの1波)
送信出力	10mW $^{+20\%}_{-50\%}$
電波の到達距離(使用場所の環境により短くなります。)	親器〜子器 ：障害物のない場所での水平見通し距離約100m（※2）
寸法	SH32717 SH32427 SH32427Y 約φ100mm×約26mm(取付ベース含む) SH32127 約φ100mm×約36mm(取付ベース含む)
質量	けむり当番(SH32717・SH32427・SH32427Y) 約120g(専用リチウム電池含む) ねつ当番(SH32127) 約105g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度	0℃〜+40℃
設置場所	天井面・壁面

※2：ワイヤレス中継器(ECE1680・ECD3100)は使用できません。

組み合わせ可能な住宅用火災警報器

		一般型		薄型	
けむり当番	親器(※3)	SH22717 SH22417	SH4410	SH32717	SH6410P
	子器	SH22427 SH22427Y	SH4420	SH32427 SH32427Y	SH6420P SH6420YP
ねつ当番	子器	SH22127	SH4620	SH32127	SH6620P

※3：一般型と薄型を混在して使用する場合でも、親器は1システムに1台しか使用できません。

お知らせ

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名			
電　　話（　　　）	―		
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは…
「故障かな?と思ったら」(☞36～37ページ)でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名　住宅用火災警報器

●品　番

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用
【部品代】 部品および補助材料代
【出張料】 技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この住宅用火災警報器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理に関するご相談は…………………

パナソニック　エコソリューションズ修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時〜20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。

大阪 ☎06-6906-1090

札幌 ☎011-261-6401㊟　名古屋 ☎052-551-7900㊟

東京 ☎03-5392-7190㊟　福岡 ☎092-622-0531㊟

※㊟印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック　お客様ご相談センター　365日 受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合…**06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル…**0120-878-236**

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626
© Panasonic Corporation 2012

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
　（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　（ニ）車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ホ）一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
　（ヘ）本書のご提示がない場合
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　（チ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

見本

Panasonic

出張修理

けむり当番・ねつ当番保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※品　番		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間	
※お買い上げ日	年　月　日	
※お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電　話　（　）　－	
※販売店	住所・販売店名	
	電話　（　）　－	

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット

〒514-8555　三重県津市藤方1668番地 TEL 0120-283338（フリーダイヤル）

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。